

【オリコンサルグローバルら バングラ鉄道橋コンサル受託 JV総額で98億円】

## バングラ鉄道橋コンサル受託

オリコンサル  
グローバルら JV総額で98億円

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバル（東京都新  
宿区、米澤栄二社長）は、  
バングラデシュ北西部で実  
施される「バングラバンドウ  
鉄道橋（通称・シャムナ橋）  
建設事業」のコンサルタン  
ト業務を受託したと発表し  
た。長大と、バングラデシ  
ユのコンサルタント会社D  
evelopment  
esignment  
Consult  
tant（ダッカ市）との  
共同事業体の代表者として

詳細設計、入札支援、施工  
監理の業務を担当する。J  
V契約金額は約98億円。  
2日にダッカ市内でバン  
グラデシュ鉄道省との契約  
調印式が行われ、オリエン  
タルコンサルタツグロー  
バルの米澤社長が見守る中  
で石井亮平ダッカ事務所長  
と、アラム鉄道省次官補が  
契約書を交わした。

同事業は、国際協力機構  
（JICA）が昨年6月に  
バングラデシュ政府との間

石井オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバルダッカ事務所  
長とアラム鉄道省次官補



で合意した円借款6事業の  
一つ。ダッカ北西部の10  
0キロ地点にあるシャムナ川  
流域で既存のシャムナ多目

的橋と並行して新たに鉄道  
専用橋を建設する。

新たな橋梁はアプローチ  
部を含む全長11・3キロで、  
このうち鋼製トラス橋部  
（鋼管矢板井筒基礎）が4  
・8キロ。詳細設計は17年3  
月～18年10月（18カ月間）。  
工事入札は18年10月をめぐ  
りに行われる予定。24年7月  
の完成を目指す。

バングラデシュでは鉄道  
網の老朽化が深刻で、各地  
で速度・重量制限や運行遅  
延、車両故障などの問題が  
発生。経済成長による鉄道  
需要の増加に対応できる鉄  
道網の整備が喫緊の課題と  
されている。